

非常勤講師の募集について

このたび本学では下記の要領により非常勤講師を募集することとなりました。

1	専門分野	視覚芸術(美術・デザイン・映像)
2	仕事内容 (担当科目と業務)	担当科目:「日本美術史 A」「日本美術史 B」 2 単位 講義科目 主にビジュアル・アーツ専修学生が 1 年次から自由選択する専修科目 開講学期・曜日・時限: 2025 年度春学期、秋学期。曜日・時限は要相談。 内容: 広く「日本美術史」を教員のアイディアによって二分し、迫っていく科目である。例えば、文化分野で二分するという切り口もあるだろうし、「明治以前」と「明治以降」など時代で分けていくことも、「歴史的側面」と「作品別側面」等で分けることも可能である。いずれにせよ、芸術を学ぶ学生の教養科目的な位置づけとして、「日本美術史」の中で、絵画作品、彫刻作品、版画作品など日本の文化と美術作品の関係性に広く触れながら扱う科目となる。A と B はそれぞれ独立した授業であり、学生によっては片方だけ履修する学生も、A と B の両方を履修する学生も存在する。 回数: 春学期 A、秋学期 B のそれぞれ 1 回 1 コマ×14 週 (*1 コマ=100 分) ※対面授業ではあるが、新型コロナウイルスの状況によっては Zoom を使用したオンライン授業や、対面とオンラインを同時に行うハイブリッド授業となる可能性がある。
3	職名及び人員	非常勤講師 1 名
4	採用予定年月日	2025 年 4 月 1 日 任期: 2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 ※再任の可能性あり
5	応募期限	2024 年 12 月 2 日(月)までに書類必着
6	応募資格	1) 本学の建学の精神、教育理念に賛同し、熱意を持って取り組めること。 2) 関連専門分野において博士または修士以上の学位を有すること。または、それと同等以上の研究業績や実務実績を有すること。 3) 本学学生のレベルに応じた創意工夫を凝らし、知的好奇心を刺激する授業を展開できること。 4) 授業方法や成績評価等に関して、本学および学群の方針に従うこと。 5) 当方指定日時の二次審査に来校できること。(交通費は自己負担)
7	応募書類	1) 履歴書 A4 版(添付の本学指定様式に、写真貼付、電話番号、E-Mail アドレスを明記のこと。要捺印。) 2) 教育・研究業績書 A4 版(添付の本学指定様式)。要捺印。 3) 学位記の写し(最終学歴を証明するもの) 4) 主要研究業績 3 点。著書・論文・作品集など(別刷、コピー可) 5) 担当予定科目の A、B それぞれ 14 回(1 回 100 分)のシラバス案。
8	選考方法	一次審査は書類審査による。 一次審査通過者に対し、二次審査(模擬授業および面接)を 2024 年 12 月 21 日に実施します。 模擬授業は A と B の各授業計画の一部を各 10 分間、計 20 分間で講義する。PC の持ち込み可。RGB D-Sub15 ピン、HDMI が接続可能な液晶プロジェクターを用意します。 ※面接(二次審査)は状況によっては Zoom によるオンライン面接となる場合もあります。 ※審査の過程に関するお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
9	待遇	本学給与規程による。
10	採否の通知	一次書類審査通過者にはメールで連絡をします。その他については書面で連絡します。
11	応募書類の送付先	〒194-0032 東京都町田市本町田 2600-4 桜美林大学 東京ひなたやまキャンパス 非常勤教員公募係 ※封筒の表面に「芸術文化学群非常勤講師(日本美術史 A、B)」と朱書きし、簡易書留またはレターパックプラスで郵送してください。 ※応募書類は返却いたしません。
1	連絡先	桜美林大学 芸術文化学群 人事採用担当

2		E-mail: geibun@obirin.ac.jp
1 3	個人情報の取扱い	ご提出いただいた履歴書等の個人情報は、採用選考のために利用します。 採用が決定した方の個人情報については、採用後の雇用管理資料として引き続き利用し、その他の方の個人情報は、採用試験終了後、本学が責任をもって処分します。